

定数1の都議補欠選挙 税金のムダづかいをやめさせ 争点は 暮らし優先に使うか、どうか

現知事を 福祉切りすてすすめた

自民と民主

月5万5千円の老人福祉手当や65〜69歳の医療費助成を廃止し、シルバーパスも全面有料化。さらに母子保健院を廃止し、小児病院の廃止計画も推進
 現知事は、全国でも異常な福祉の切りすてを行いました。この切りすてに賛成し、あおったのが自民、公明、民主などの「オール与党」です。

自民党 「都立病院廃止計画を「高く評価」

「わが党は（都立病院を）大幅に廃止・民間化するこのマスタープランを高く評価」（02・27・28本会議）

民主党 「福祉手当は寝たきりを助長する」

「老人福祉手当という現金給付制度は、寝たきりを助長する」（03・3・7本会議）

その一方で、豪華「海外視察」くり返す 税金使って

自民党、民主党、公明党は、昨年も、左記のように海外視察を実施しました。

党	参加人数	視察地	一人あたり費用	目的
民主	4人	イグアスの滝など	191万円	環境政策
自民	3人	ドバイ、アテネなど	181万円	オリンピック調査
自民	3人	ロンドン、ミュンヘンなど	176万円	オリンピック調査

●政務調査費の問題でも…

23区では、どこも領収書添付が義務化されたのに、都議会では、政務調査費（年間9億円）への領収書添付の義務化が、いまだに実現していません。日本共産党都議団は一昨年都議選後に3回にわたって「領収書の添付を義務化する」という条例改正案を提案しました。ところが2回は否決。最近も「継続審議」として先送りしたのが自民党、民主党、公明党、生活者ネットです。

民主党 全員が公約しながら 否決・先送り

とくに民主党は、2年前の都議選で当選した都議全員が「添付すべき」と公約していたのですから、責任重大です。



あなたの一票を

現知事をてっていい追及 税金の使い方を 暮らし一番に変える

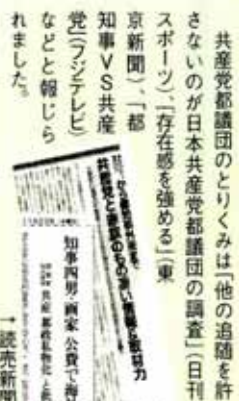
日本共産党の候補に

区議 9期36年

都政改革のカギは、オリンピックをテコにした大型開発に8・5兆円も使うような現都政の税金の使い方を改め、暮らし・福祉一番に使うか、どうかです。ここにズバリ切り込めるのは日本共産党です。

税金を使った現知事の豪華海外視察や都政私物化をてっていい追及し、ここまで追い込んだのも日本共産党です。日本共産党が伸びてこそ、都政が変わり、暮らしが守られます。（ウラ面の「くらし応援プラン」をご覧ください）

マスコミも 「ものすごい情報 & 取材力」と報道



→月刊「THEMIS」

東京都議会議員補欠選挙（足立区）日本共産党法定1号ピラ このピラは選挙期間中、自由に配布できます。ご意見は3889-8115